



昭和28年の水害

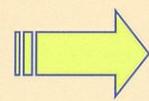
【昭和28年9月25日 台風13号】

前日からの集中豪雨により、亀岡市では畠野・河原林・保津村に人的被害、家屋・田畠の被害等が多数発生し、近隣では育親中学校校舎（旧 現花園大学用地）に土砂が流入し、死傷者が出了た。

宮川区では家屋流出があり、宮川・猪倉の両区で床上・床下浸水があった。



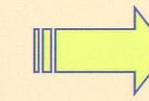
赤坂橋が流出した後の仮橋付近の建物は崩壊した〔撮影 岡本眞治氏〕



平成23年現在の様子 地図①



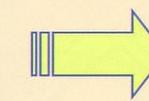
谷奥下池の決壊による被害状況



平成23年現在の状況 地図④



府道が決済し、陸の孤島となる
応急的な仮設の橋を作成し対応した



平成23年現在の状況 地図⑤



昭和35年の水害

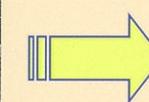
【昭和35年8月30日 台風16号】

前日からの集中豪雨は総雨量300mmを超え、神前区では30日早朝に土砂崩れによる家屋倒壊で死傷者を出した。また、宮前橋と宮前小学校（現青野小学校）の間の府道が流失し、神前区は陸の孤島となり、けが人はヘリコプターで病院へ搬送された。

他にも、千々川の氾濫や神前・北ノ庄の両区に家屋流失、全半壊家屋、床上・床下浸水田畠流失等の被害が多数発生した。宮川・猪倉の両区でも、床上・床下浸水等の被害があった。



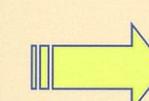
神前区の土砂崩れ現場の状況
多くの家屋が崩壊した



平成23年現在の様子 地図②

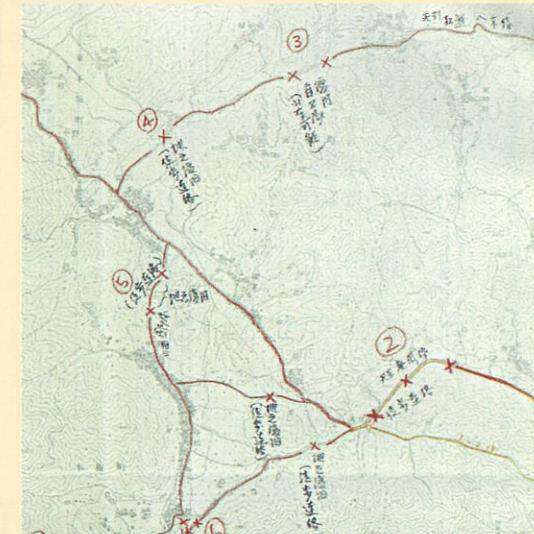
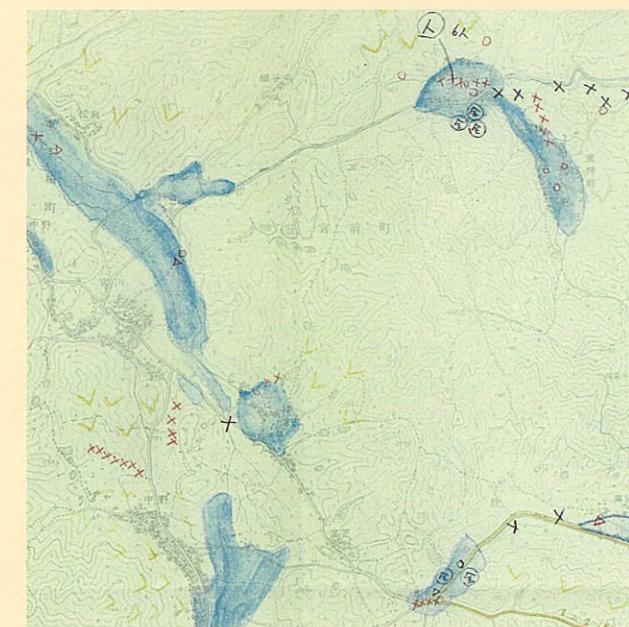
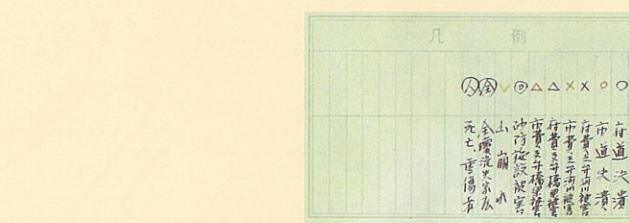


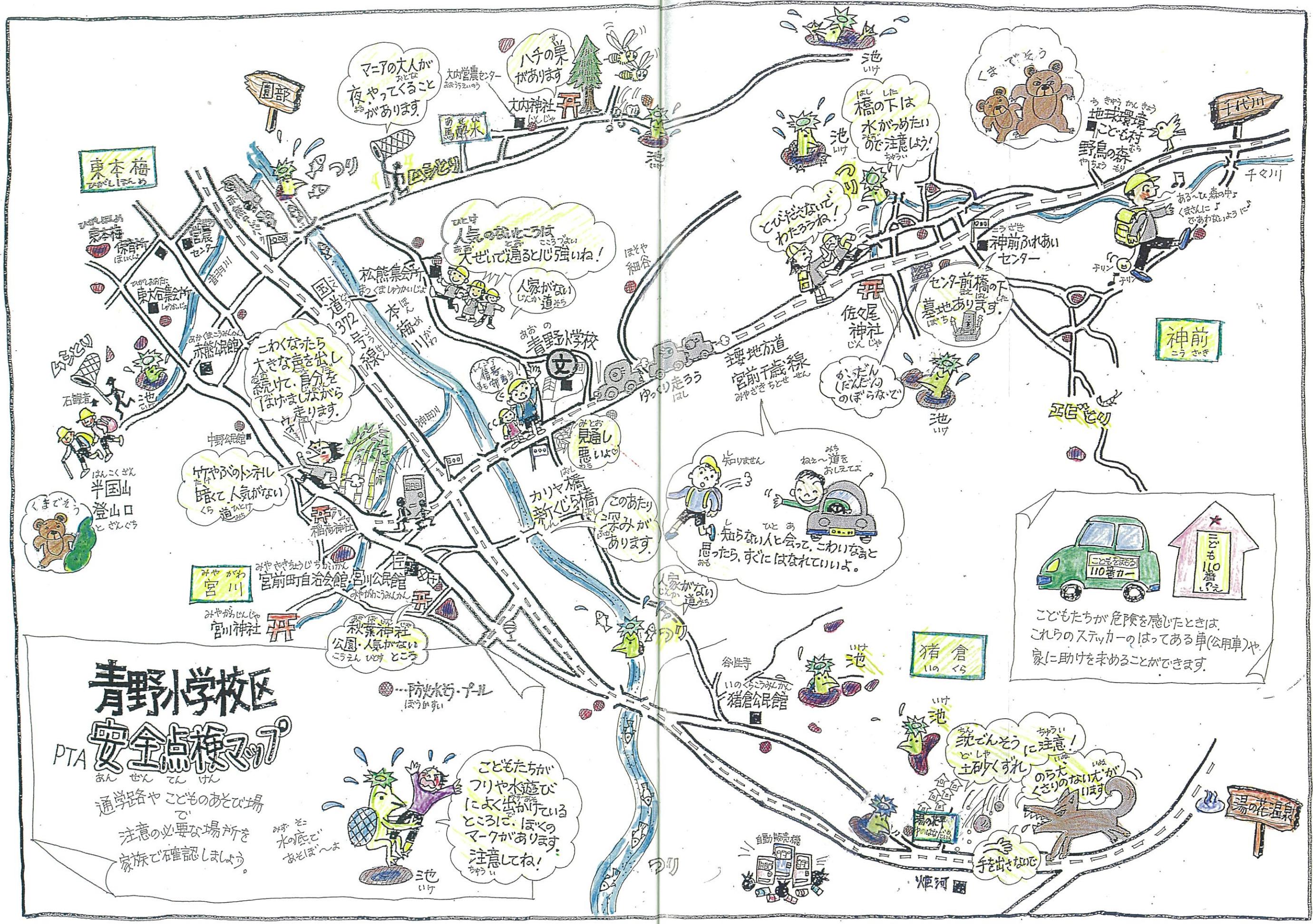
神前区が孤立し、けが人は
ヘリコプターにより病院へ搬送



平成23年現在の様子 地図③

当時の被災現場図面や新聞記事



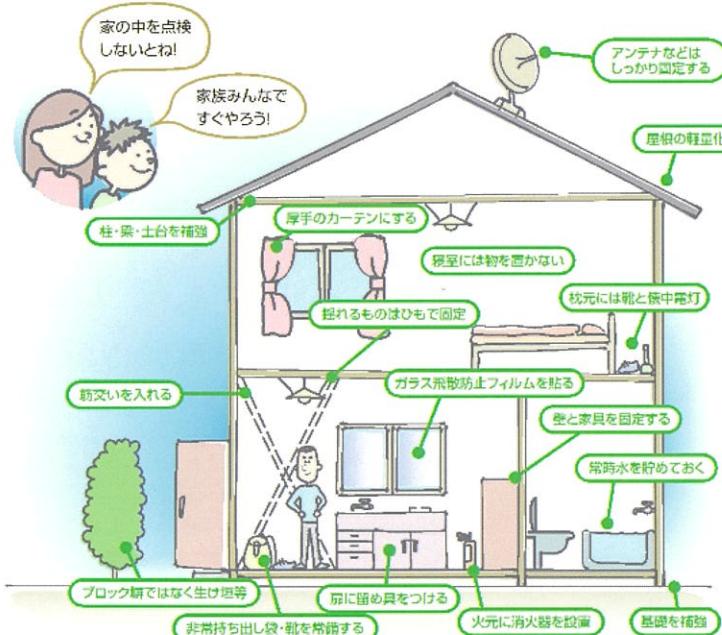


あわてないよう 日ごろの備え



あなたの家にありますか？

被害を少なくするために、私たちにも今できることがあります！



家具の固定を行いましょう

